ランドリー作業現場で工程管理と研修資料をタブレットやスマホで活用できる電子書籍

一般社団法人日本テキスタイルケア協会提供

■新しいメディアに対応する作業マニュアルを活用

スマホやタブレットなどのモバイル媒体によって、軽快に大量の資料を持ち歩ける時代になっている。

クリーニング関連出版物も電子書籍化が進んでいる。電子書籍の普及を世界的に推進しているのが、最大手通販サイトの AMAZON（アマゾン）だ。AMAZON では Kindle（キンドル）というタブレットやアプリケーションを介して電子書籍という形式の出版物を提供している。

一般社団法人日本テキスタイルケア協会の出版物を制作する品質情報研究所では、『ランドリー実務の品質管理』『繊維製品ダメージチェック』『かなり賢いファッションケア』の３点の出版物を AMAZON のサイトで電子書籍として発行した。

■毛利春雄著『ランドリー実務の品質管理』

この電子書籍『ランドリー実務の品質管理』は、紙媒体出版物として既刊の『クリーニングの理論と実際』をベースに、現場に即した実践的なマニュアル書として「ランドリー」「ドライクリーニング」「ウエットクリーニング」の三部作の出版を計画したその第一作ということになる。

その内容の一部を以下に紹介する。

第５章　洗う前に

第１節　入荷チェックと検品

最初にすべきことは、工場に入荷した袋の中の商品の確認です。要するに「どの店から」「何が」「何点」送られてきたかの確認です。

どのような方法をとろうが、ものが動いたときには商品伝票が無ければなりません。クリーニング工場では、何が入ったか解らないのに、出来上がり時に「納品伝票」を書く、不思議な現象が見られます。注1）

入荷作業では、店舗毎・ロット毎に「入荷チェック（何が入荷されたか）」「検品・前処理（洗うに支障は無いか）」「結束（破損防止）」が一連の作業としてなされます。これは、洗浄後のロット間の混乱を防ぐための処置です。

〔入荷チェック〕

入出荷伝票方式を例に上げると。

店舗のカウンターの能力（確認、お客さまとの相談）によって、工場での作業内容は変わってきます。カウンターでのチェックの質（洗浄方法の相談等）が高ければ、工場での最初の作業は簡単な検品と、洗い別に選別された商品への対応となります。

しかし、現実にはカウンターの能力は思うほど高くありません。しかし、工場ではお客さまの了解を得ていない処置が安易に行われ、不必要な事故を発生させるのです。

クリーニングの今後を考えると、会社の方針を定めて対応をする必要があると思います。

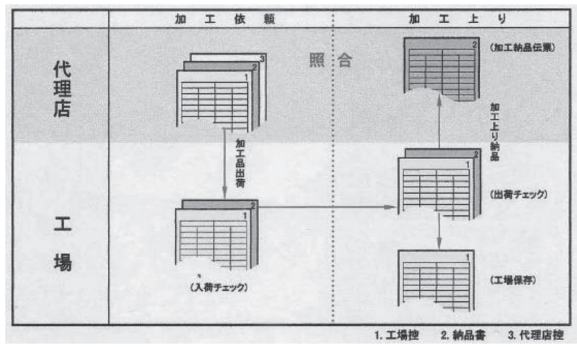
即ち、自動受け付け（ロッカー、ポスト、ネット等）カウンターの無人化を進めるのであれば、お客様にこのシステムを利用する上での了解が必要となりますし、工場での入荷チェック、検品は厳しくなければなりません。

しかし、あくまでも対人応対を進めるのであれば、衣服のカウンセリングを行うのだというような資格・技術を習得することが必要になります。

注１）工場入荷が確認出来ないのに、何故、出荷（納品書）が確認出来るのですか。

〔入出荷伝票のフロー〕

入荷した袋から、伝票（３枚複写）を取り出し入出荷の準備をします。この伝票は、その後、出荷チェックに使われ、納品書となります。



図表20　入出荷伝票のフロー

・ランドリー（ワイシャツ）を例に記述をします。

袋の中の商品は会社の基準によって、異なります。しかし、最も多いのがワイシャツです。ワイシャツだけの会社もあります。

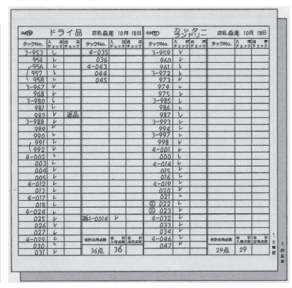
袋から商品を１点ずつ出しながら、タグナンバーをチェックします。この時、麻、シルク、後染め製品（カラーシャツ）等があれば、分けておきます。

作業は、必ず１人で行ってください。２人で行っても倍の速度にはなりませんし、ミスが起こる可能性が高まります。

返品、問い合わせ、商品の不足への対処等をキチンと決めてください。個々がはっきりとしない会社での事故例には事欠きません。特に、問い合わせをいつの時点で行うかはっきりとしておかないと、うっかり忘れるというようなことになります。

〔入荷チェックの伝票〕

・店舗名、入荷日時、区分を記入します。
・必ず袋に入れるときにタグナンバーを記入する。
・付属品（ベルト等）はタグナンバーを｛で括る。
・再処理品は別枠に書く。
図表21−1　店舗で記入



・チェックの印を決めておきます。（図ではレ点）
・返品作業は、1ロット入荷チェックが終わったら行います。
・伝票は、商品と一緒に移動、出荷に行きます。
図表21−2　入荷チェック後

〔検品の目的〕

検品と選別。

→お客さまの要望確認。店舗情報確認。カード類の確認・シミ抜き、糊加減（糊無し、糊を強く等）、タタミ等。

→（マニュアルに従って）ボタンの脱落、破損・シミの確認。

→商品によっては品質表示を見る。（エンボス加工、シワ加工等の確認）

〔検品の手順〕

ワイシャツを例に、検品の手順を示します。１点１点確実に行ってください。

①衿のチェック

図表22-1

両手で衿を広げるように持ち、エリの汚れ、擦れをチェックします。

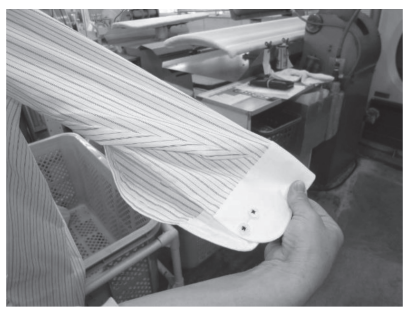
②ポケットのチェック

図表22-2

ポケットの中に残っていれば掃除をします。

薬などをプレスして落とせなくなることがあります。

③右袖のチェック

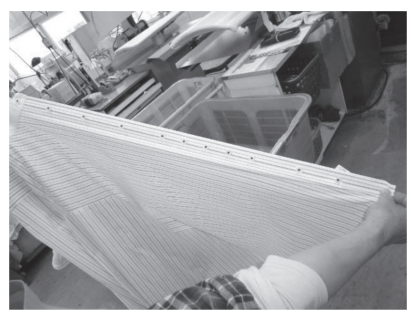


図表22-3

カフス口の擦れ、ボタンをチェックします。特に、剣ボロのボタンに注意。

ボタンが取れていたら、直ぐに予備のボタンを取り付けます。

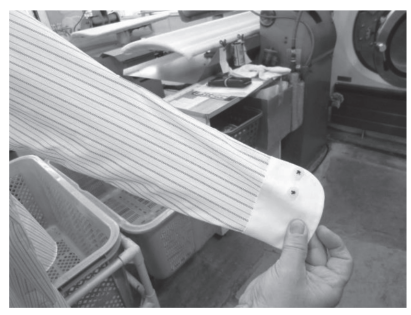
④前立てのチェック



図表22-4

前立てのボタンをチェックしてください

⑤左袖のチェック



図表22-5

右袖と同様のチェックをします。

Kindle のアプリは iPhone では App ストアから、アンドロイド版は Google プレイで入手できる。